

競 技 規 則

1 大会名称及び会場

2022takuma-gpCUP選手権

2 主催

takuma-gp 埼玉県志木市上宗岡4-26-20

開催日	開催日	開催サーキット	開催クラス
第1戦	5月1日	筑波サーキット1000	ST125・M50/M50B
第2戦	7月17日	日本海間瀬サーキット	ST125
第3戦	9月4日	日本海間瀬サーキット	ST125
第4戦	9月18日	筑波サーキット1000	ST125・M50/M50B
第5戦	11月27日	筑波サーキット1000	ST125・M50/M50B

4 開催クラス

ST125

M50 (エキスパートクラス・ビギナークラス)

5 シリーズポイント

ポイントが付与の対象は決勝に出走したライダーのみとする。※M50ビギナーは対象外

順位	台数						
	15台以上	13台以上	10台以上	6台以上	3台以上	2台	1台
1位	15	15	15	12	10	6	3
2位	12	10	8	6	6	3	
3位	10	6	4	3	3		
4位	8	5	3	1			
5位	7	4	2				
6位	6	3	1				
7位	4	2					
8位	3	1					
9位	2						
10位	1						

6 車両保管

車両保管は 各クラスレース終了後30分間とする。また、M50クラスに関しては再車検を行う場合がある。

7 抗議

競技に関して抗議出来るのはライダーのみとし他者からの抗議は一切受け付けない。

また、抗議はレース終了後30分までとし、抗議料金10,000円を添えることで、抗議が出来る。なお、抗議料金は返金しない。

8 罰則

競技中にライダーに違反行為があった場合は、そのライダーに対してペナルティーを科す。

フラッグ無視	タイム加算又は失格
フライング	ピットスルー
非スポーツマン行為	失格

9 権限

* 主催者は理由を明かすことなく参加を拒否出来る。

* 天候不順等によりレースを中止することが出来る。

10 開始及び終了

* 競技のスタートはスタンディングスタートとし、スターと合図は信号機、または日章旗を使用する。

* 競技の終了はチェッカーフラッグを使用し、先頭のライダーがチェッカーフラッグを受け2分後にそのレースを終了とする。

11 補足

* 全ての車両が競技を行うために使用する燃料は、一般に購入できるガソリンとする。

* 参加者は保険に加入することが必須(ライディングスポーツメンバーズ、もしくは筑波サーキット共済(筑波大会のみ))

* 装備は、フルフェイスヘルメット、革製レーシングスーツ、革製レーシングブーツ、革製グローブとする。(MFJ公認を推奨)

また、ヘルメットリムーバー、脊椎パット、チェストプロテクターの装着を推進する。

12 M50 ビギナークラス

・車両レギュレーションはエキスパートクラスに準ずる。

参加資格～章典外

・参加資格は42秒以上(41.999秒はエキスパートクラスへ)

朝のフリー走行または予選で42秒未満のタイムが出た参加者はエキスパートクラスへ昇格。

(朝フリーで出場の場合→予選から、予選で出場の場合→決勝から)

・決勝で42秒未満のタイムが出た場合の処置

①41.999～41.700秒が3回以上出た場合、名誉の章典外。2回はセーフ(口頭にて注意勧告)

②41.699秒以下のタイムが1回でも出た場合、名誉の章典外。